

令和2年度宇治市の家計簿

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、
一般家庭に例えると・・・

前年度からの
増減

具体的には・・・

○収入

| | | |
|----------------|------------------|--------------------|
| 給与などの収入 | 736 万円 (+227 万円) | 市税、譲与税、交付金、使用料など |
| 親からの仕送り | 72 万円 (-2 万円) | 地方交付税 |
| ローン（家・車の購入のため） | 34 万円 (+10 万円) | 道路・河川の整備、学校改修などの資金 |
| ローン（生活資金のため） | 22 万円 (±0 万円) | 臨時財政対策債 |
| 預貯金の引き出し | 1 万円 (-1 万円) | 基金繰入金 |
| 繰越金 | 8 万円 (+4 万円) | 繰越金 |



収入合計 873 万円 (+238 万円)

令和2年度の家計は・・・

昨年度と比べて、生活費や家・車の購入にかかる経費などが増えましたが、給与などの収入が増えたことから、預貯金の積み立てを行うことができました。

今後も生活費は増えることが見込まれているほか、家・車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことが見込まれていることから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借入れに無理がないのか、預貯金の残高にも気を配りながら、家計の安定に向けて、引き続き努力や工夫が必要です。

なお、家・車の購入のためのローン借入の増加により、ローン残高が増加したものの、預貯金の積み立ても行えたことから、預貯金残高は前年度より増加しました。今後も将来の支出に備えて、預貯金の積み立てを行っていくことが必要です。

前年度からの
増減

具体的には・・・

○支出

| | | |
|-----------|------------------|---------------------|
| 生活費など | 460 万円 (+198 万円) | 人件費、扶助費、維持補修費など |
| 子どもの教育費など | 173 万円 (+15 万円) | 教育費、民生費のうち児童福祉費 |
| 保険料・下水道費用 | 87 万円 (+3 万円) | 国保特会、公共下水道事業などへの繰出金 |
| 家・車の購入 | 64 万円 (+22 万円) | 道路・河川の整備、学校改修費用など |
| 貸付金など | 23 万円 (-1 万円) | 貸し付け事業の費用（年度末には返金） |
| 預貯金の積み立て | 6 万円 (+2 万円) | 基金への積立金 |
| ローンの返済 | 51 万円 (-3 万円) | 公債費 |



支出合計 864 万円 (+236 万円)

差し引き 9 万円 (+2 万円)

ローン残高 442 万円 (+7 万円) 年度末の市債残高

預貯金残高 95 万円 (+5 万円) 年度末の基金残高

(市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移) (単位：円)

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| ローン残高 | 234,883 | 233,774 | 238,784 |
| 預貯金残高 | 47,128 | 48,479 | 51,373 |

